

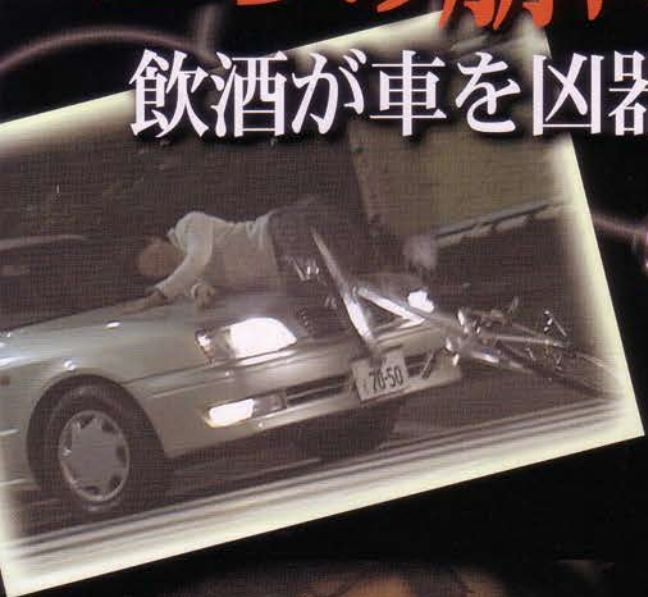
推薦：(財)全日本交通安全協会
(社)青少年育成国民会議

交通安全教育映画 VHS
DVD



二つの崩れた家族

飲酒が車を凶器に変えた



どうして……
飲酒運転なんかしたのよ



主演：宮川 一朗太
長谷川 真弓



制作著作：(株)映学社 / (株)オムニバス・ジャパン 視聴時間：30分 ライブラリー価格：73,500円(税込)

企画意図

平成18年8月、福岡市で飲酒運転の暴走車が一家5人の乗る車に追突し、幼児3人を死亡させた交通事故。この痛ましい事故を契機に飲酒運転根絶の気運が高まっている。

だがその後も、全国で悲惨な飲酒運転事故が繰り返し起きている。潜在的に飲酒運転に対して、意識の甘いドライバーがまだまだ多いのが実状だ。

飲酒運転事故を起こしたドライバーは「酒を飲んでもちゃんと運転できると思った」「少しくらいの酒なら、これまで大丈夫だった」と供述しているケースが多い。これは飲酒に対する間違った意識、過信があるからだ。酒を飲めば正常な運転は絶対に出来ない。

そこで、この作品では、40代のサラリーマンの男性が飲酒運転に対する甘い意識が引き金となって死亡事故を起こし、一変して幸せだった加害者、被害者の家庭が崩れていく姿を描いていく。

又、飲酒運転をする事が分かっているのに酒をすすめた周辺の人々に対しても教唆、幫助罪がかかってくることも取り上げていく。

飲酒運転の根絶には、ドライバーの飲酒運転に対する自覚を高める他、飲酒運転の犯罪性を社会全体が強く認識しなければならない事を強く訴えていく。

あらすじ

大手研究機器メーカーの開発部課長、谷崎裕二(宮川一朗太)は、仕事も順風満帆、家庭では妻の雪絵(長谷川真弓)が二人目の出産を控え、幸せに満ちた日々を送っていた。

そんなある日、谷崎は開発部の親睦会の席で、「これくらいなら大丈夫だろう…」との甘い認識から、車通勤にもかかわらず酒を飲んでしまう。谷崎の上司や同僚たちも、酒を飲んでいる気の緩みから、谷崎に酒を勧めてしまう。

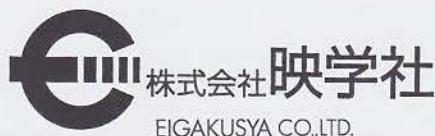
居酒屋、スナックとはしごして酔いがまわった谷崎は車のなかでしばらく仮眠すれば大丈夫だろう……と考える。そして仮眠から目覚め、ハンドルを握る谷崎。

飲酒で朦朧としながら運転する谷崎は、何かにぶつかった様な感覚を覚えてハッとする。停車して車を調べると、フロント部分が壊れている！背筋が寒くなる谷崎……
慌てて車で戻ってみると……そこで谷崎が目にしたものは、悪夢のような現実だった……

- 推薦 (財)全日本交通安全協会
(社)青少年育成国民会議
- スタッフ 製作……武田佳典／高木裕己
脚本・監督……高木裕己
プロデューサー……佐野道夫／落合信人
撮影……西岡 章
照明……田久保剛
録音……岩丸 恒
音楽……加藤由美子
編集……高木裕己
助監督……斉藤克康
制作主任……川下和裕

- キャスト 宮川一朗太 長谷川真弓
勝沼璃歩 九太朗
岩崎聡子 前田幸恵
芦沢孝子 新井量大
越村公一 大門裕明
林田麻里 岸端正浩 /他
- 撮影協力 市原刑務所
医療法人社団愛友会
三郷順心総合病院
㈱ビッグ築地
サンフラワー24h 託児所
S.K市民共済

制作著作：株式会社映学社／株式会社オムニバス・ジャパン



株式会社映学社

EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-15-2池与ビル3F
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……